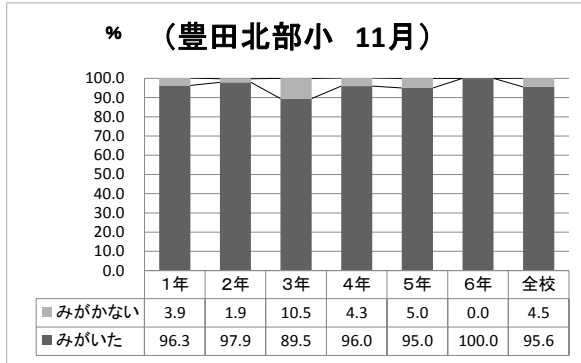
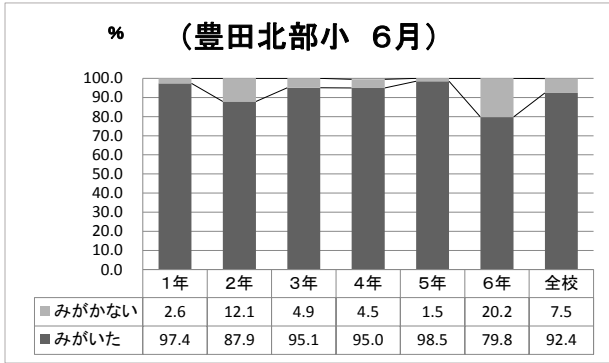
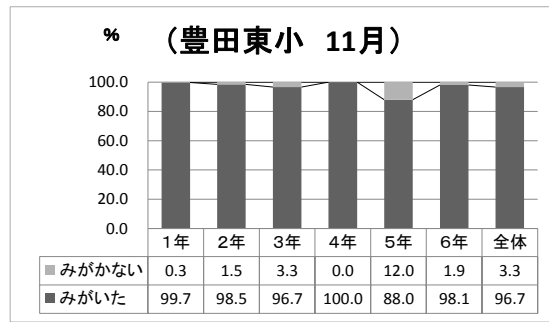
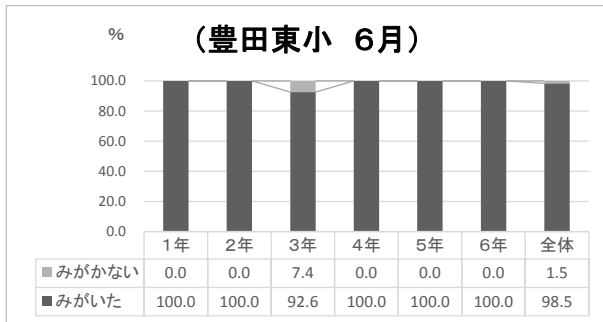


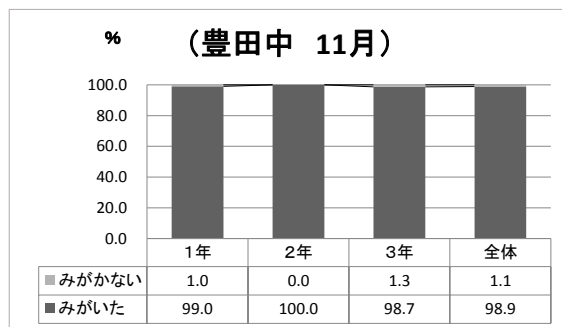
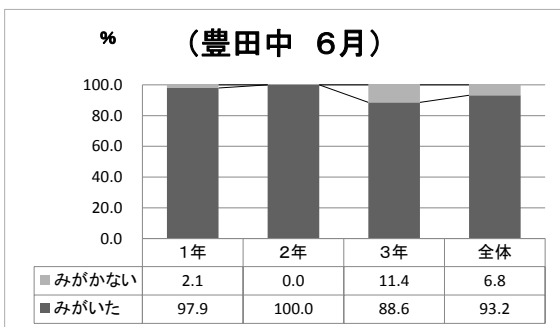

  
**平成30年度 ながふじ学府の給食後の歯みがき調査結果**
  

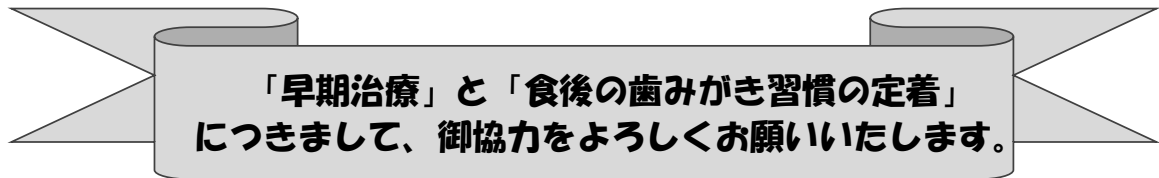
昼食後の歯みがきは、学年によって取り組みにばらつきがみられます。2年、4年、6年は1回目と比較すると少し改善がみられました。歯みがき週間には、委員会の児童が呼び掛けを行い、音楽に合わせて歯みがきを行う児童の姿が印象的でした。歯みがきの習慣化に向けて御家庭での御協力をお願いいたします。また、校内を回っていると、歯ブラシの毛先が開いている児童を見かけました。効果的な歯みがきができるよう、給食後の歯ブラシも、1か月に1回のペースで交換をお願いします。



6月と比較して、11月は給食後の歯みがきができていない児童が増加してしまいました。特に5年生の歯みがきできていないことがわかりました。「食後の歯みがきができる児童100%」をめざして学校でも指導していきますので、御家庭におかれましては是非声かけをお願いします。



大半の生徒が給食後に歯みがきをしています。しかし、1学期に行われた歯科健診では、歯石や歯垢の勧告生徒が70%以上いることを考えると、正しい歯みがきできていないことが推測されます。歯ブラシを細かく動かして1~2本ずつ歯をみがいたり、歯ブラシをいろいろな方向から当て、ブラシの部分を上手に使うことで歯をみがいたり、自分の歯に合ったみがき方をして、歯垢を除去することができるように指導していこうと考えています。


  
**「早期治療」と「食後の歯みがき習慣の定着」**
  
**につきまして、御協力をよろしくお願いいたします。**